

檀信徒向け浄土宗のおつとめ（全）

(1) 香偈こうげ

がながーしんじょうによこうろー	願我身浄如香炉
がながーしんにょーちえーかー	願我心如智慧火
ねんねんぼんじょうかいじょうこう	念念焚烧戒定香
くようじっぽうさんぜーぶー	供養十方三世仏

(2) 三宝礼さんぼうらい

いっしんきょうらい	じっぽうほうかい	じょうじゅうぶー	一心敬礼十方法界常住仏
いっしんきょうらい	じっぽうほうかい	じょうじゅうほう	一心敬礼十方法界常住法
いっしんきょうらい	じっぽうほうかい	じょうじゅうそう	一心敬礼十方法界常住僧

(3) 三奉請さんぶじょう

ぶーじょう	みだせそん	にゅうどうじょう	奉請弥陀世尊入道場
ぶーじょう	しゃかによらい	にゅうどうじょう	奉請釈迦如来入道場
ぶーじょう	じっぽうによらい	にゅうどうじょう	奉請十方如来入道場

(4) 懺悔偈さんげげ

がしゃくしょぞうしょあくごう	我昔所造諸悪業
かいゆうむしとんじんち	皆由無始貪瞋痴
じゅうしんごいししよしょう	従身語意之所生
いっさいがこんかいさんげ	一切我今皆懺悔

(5) 十念じゅうねん

なむあみだぶ	なむあみだぶ	なむあみだぶ	なむあみだぶ
なむあみだぶ	なむあみだぶ	なむあみだぶ	なむあみだぶ
なむあみだぶつ	なむあみだぶ		

(6) 礼讃らいさん

な一む一し一し一いんき一みよ一ーら一いさあいほ一あみだ一ぶ一

南無至心帰命礼西方阿弥陀仏

み一だ一しんじきによ一こんせ一えん

弥陀身色如金山

そ一ご一こ一みよ一しょ一じっぽ一お一

相好光明照十方

ゆい一う一ねんぶつむ一こ一しょ一お一

唯有念仏蒙光摂

とおち一ほんがんさあいい一ご一お一

当知本願最為強

ろっぽ一によ一らあいじよ一ぜっしょ一お一

六方如来舒舌証

せんしょ一みよ一ご一し一さいほ一お一

専称名号至西方

と一ひ一け一かいもんみよ一ほ一お一

到彼華開聞妙法

じゅうじ一がんぎよ一じいねんじよ一お一

十地願行自然彰

がんで一しょ一しゅ一じよ一お一じよ一あんらあっこ一く一

願共諸衆生往生安楽国

な一む一し一し一いんき一みよ・お一ら一いさあいほ一あみだ一ぶ一

南無至心帰命礼西方阿弥陀仏

あいみんふ一ごおが・あ一りよおぼ一しゅ一ぞ一じよ・お一

哀愍覆護我令法種増長

し一せ一ぎゅ一ご一しょ一お一がんでつじよ一しょ一じゅ一う一

此世及後生願仏常摂受

がんで一しょおしゅ一じよ一お一じよおあんらっこ一く一

願共諸衆生往生安楽国

(7) 開経偈かいきょうげ

むじょうじんじんみみようほう

無上甚深微妙法

ひやくせんまんごうなんそうぐう

百千万劫難遭遇

が一こんけんもんとくじゅ一じ一

我今見聞得受持

がんでによらいしんじつぎ一

願解如来真實義

(8) 仏説無量寿経四誓偈ぶっせつむりょうじゅきょうしせいげ

がごんちようせーがん	ひっしーむーじょうどう	我建超世願	必至無上道
しーがんふーまんぞく	せいふーじょうしょうがく	斯願不満足	誓不成正覺
がーおーむーりょうこう	ふーいーだいせーしゅー	我於無量劫	不為大施主
ふーさいしよーびんぐー	せいふーじょうしょうがく		
		普濟諸貧苦	誓不成正覺
がーしーじょうぶつどう	みょうしょうちようじっぼう		
		我至成仏道	名聲超十方
くーきょうみーしょうもん	せいふーじょうしょうがく		
		究竟靡所聞	誓不成正覺
りーよくじんしょうねん	じょうえーしゅーぼんぎょう		
		離欲深正念	淨慧修梵行
しーぐーむーじょうどう	いーしよーてんにんしー	志求無上道	為諸天人師
じんりきえんだいこう	ふーしょうむーさいどー	神力演大光	普照無際土
しょうじょーさんくーみょう	こうさいしゅーやくなん		
		消除三垢冥	広濟衆厄難
かいひーちーえーげん	めっしーこんもうあん		
		開彼智慧眼	滅此昏盲闇
へいそくしよーあくどう	つうだつぜんじゅーもん	閉塞諸惡道	通達善趣門
くーそーじょうまんぞく	いーようろうじっぼう	功祚成満足	威曜朗十方
にちがっしゅうじゅうきー	てんこうおんぷーげん	日月戢重暉	天光隱不現
いーしゅうかいほうぞう	こうせーくーどくほう	為衆開法藏	広施功德宝
じょうおーだいしゅうじゅう	せっぼうしーしーくー		
		常於大衆中	說法獅子吼
くーよういっさいぶつ	ぐーそくしゅーとくほん	供養一切仏	具足衆徳本
がんねーしつじょうまん	とくいーさんがいおう	願慧悉成滿	得為三界雄
にょーぶつむーげーちー	つうだつみーふーしょう	如仏無礙智	通達靡不照
がんがーくーえーりき	とうしーさいしょうそん	願我功慧力	等此最勝尊
しーがんにゃっこっかー	だいせんおうかんどう	斯願若剋果	大千忖感動
こーくうしよーてんにん	とううちんみょうけー	虚空諸天人	当雨珍妙華

(9) 本誓偈ほんぜいげ

みだほんぜいがん ごくらくしようもん 弥陀本誓願 極樂之要門
じょうさんとうえこう そくしようむしようしん 定散等回向 速証無生身

(10) 十念じゅうねん

(11) 宗祖法然上人ご遺訓 一枚起請文

もろこし我が朝に、もろもろの智者達の、沙汰し申さるる觀念の念にもあらず。また学問をして、念のこころを悟りて申す念仏にもあらず。ただ往生極樂のためには、南無阿弥陀仏と申して、うたがいなく往生するぞと思ひ取りて申すほかには別の仔細候わず。ただし三心四修(さんじんししゅ)と申すことの候うは、みな決定(けつじょう)して南無阿弥陀仏にて往生するぞと思ううちにこもり候うなり。

このほかに奥深き事を存ぜば、二尊のあわれみにはずれ、本願にもれ候うべし。念仏を信ぜん人は、たとい一代の法をよくよく学すとも、一文(いちもん)不知の愚鈍の身になして、尼入道の無智のともがらに同じうして、智者のふるまいをせずしてただ一向に念仏すべし。証のために両手印をもってす。

浄土宗の安心(あんじん)起行(きぎょう)この一紙に至極せり。源空が所存、このほかに全く別義を存ぜず。

滅後の邪義をふせががために所存をしるしおわんぬ。

建暦二年正月二十三日 大師在御判(ざいごはん)

(12) 撰益文しょうやくもん

こうみょうへんじょう じっぽうせかい 光明遍照 十方世界
ねんぶっしゅじょう せっしゅふしゃ 念仏衆生 撰取不捨

(13) 念仏一会ねんぶついちえ

なむあみだぶ なむあみだぶ なむあみだぶ なむあみだぶ…

(別回向べつえこう (導師))

(14) 総回向偈 そうえこうげ

がんにしくどくびょうどうせーいっさい 願以此功德平等施一切
どうほつぼだいしんおうじょうあんらっこく 同発菩提心往生安楽国

(15) 十念じゅうねん

(16) 総願偈 そうがんげ

しゅじょうむへんせいگانどー 衆生無辺誓願度
ほんのうむへんせいگانだん 煩惱無辺誓願断
ほうもんむじんせいگانち 法門無尽誓願知
むじょうぼだいせいگانしょう 無上菩提誓願証
じたほうかいどうりやく 自他法界同利益
ぐしょうごくらくじょうぶつどう 共生極樂成仏道

(17) 三身礼さんじんらい

なむさいほう ごくらくせかい ほんがんにじょうじゅしん あみだーぶー
南無西方極樂世界本願成就身阿弥陀仏
なむさいほう ごくらくせかい こうみょうせつしゅしん あみだーぶー
南無西方極樂世界光明攝取身阿弥陀仏
なむさいほう ごくらくせかい らいこういんじょうしん あみだーぶー
南無西方極樂世界来迎引接身阿弥陀仏

(18) 送仏偈 そうぶつげ

しょうぶつずいえんげんほんごく 請仏随縁還本国
ふさんこうけしんそうぶつ 普散香華心送仏
がんぶつじしんようごねん 願仏慈心遥護念
どうしょうそうかんじんしゅらい 同生相勸尽須来

(19) 低声十念 ていせいじゅうねん